議事日程（開会日） 令和7年6月9日 午前9時開会

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について
- 日程第 2 会期の決定について
- 日程第 3 所信表明について
- 日程第 4 議案第29号 令和7年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算（第1号）について
- 日程第 5 議案第30号 令和7年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について
- 日程第 6 議案第31号 令和7年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計補正予算（第1号）について
- 日程第 7 議案第32号 令和7年度三重県桑名郡木曾岬町水道事業会計補正予算（第1号）について
- 日程第 8 議案第33号 木曾岬町公共下水道条例の一部を改正する条例の制度について
- 日程第 9 議案第34号 木曾岬町農業集落排水処理施設の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第10 議案第35号 木曾岬町給水条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第11 議案第36号 木曾岬町夢とふれあい教育基金条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第12 議案第37号 木曾岬町夢ささえあいのまち福祉基金条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第13 報告第 1号 令和7年度三重県桑名郡木曾岬町土地開発公社事業計画及び会計予算並びに令和6年度木曾岬町土地開発公社事業報告及び会計決算報告について
- 日程第14 報告第 2号 令和6年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
- 日程第15 報告第 3号 令和6年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計予算繰越計算書の報告について
- 日程第16 報告第 4号 令和6年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計予算事故繰越計算書の報告について
- 日程第17 同意第 2号 木曾岬町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

本日の会議に付した事件

議事日程と同じ

出席議員（8名）

1番	黒宮武史	2番	波多野光雄
3番	後藤紀子	5番	古村護
6番	鎌田鷹介	7番	加藤真人
8番	服部芙二夫	9番	伊藤好博

欠席議員（0名）

議場出席説明者

町長	三輪一雅	副町長	森清秀
教育長	伊藤芳彦	総務政策課長	小島裕紹
危機管理課長	坂倉丈夫	会計管理者	神野美紀恵
産業課長	中山重徳	建設課長	中里満博
住民課長	伊藤正典	税務課長	服部直子
教育課調整監	藤井光利	福祉課長	黒田和弘
子ども・健康課長	佐藤信恵	ふれあいの里所長	松本大

事務局出席職員

事務局長 伊藤雅人 議会事務局 鈴木琴音

=====

午前 9時 0分開会

○議長（服部芙二夫議員） 皆様、おはようございます。

本日、令和7年第2回木曾岬町議会定例会が招集されましたところ、議員各位には、諸般何かとご多用のところ、ご出席を賜わり厚くお礼申し上げます。

また、三輪町長はじめ執行部の皆様におかれましても、ご出席いただきありがとうございます。

今期定例会に提出されております議案につきましては、執行部提出議案14件でございます。

いずれも重要な案件が提出されており、その詳細については、後ほど執行部から、説明がなされますが、議員の皆様方におかれましても、住民の負託にこたえるべく、十分なご審議を尽くしていただきますよう、お願い申し上げます。

また、議会運営には、格段のご理解とご協力を賜りますことをお願い申し上げまして、開会の挨拶といたします。

ただいまの出席議員数は8名です。よって、定足数に達しておりますので、会議は成立します。

それでは、ただいまより令和7年第2回木曾岬町議会定例会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元の資料のとおりです。

日程第1 会議録署名議員の指名について

○議長（服部英二夫議員） 日程第1、会議録署名議員の指名についてを行います。

今期定例会の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、3番議席、後藤紀子議員、5番議席、古村護議員を指名します。

日程第2 会期の決定について

○議長（服部英二夫議員） 次に、日程第2、会期の決定についてを議題とします。

本定例会を開催するにあたりまして、去る6月3日、議会運営委員会が開かれましたので、その結果を議会運営委員長より報告をお願いいたします。

○7番（加藤真人議員） 議長、7番。

○議長（服部英二夫議員） 7番議席、加藤真人委員長。

○7番（加藤真人議員） 皆様、おはようございます。

議会運営委員会のご報告をさせていただきます。

去る、6月3日午前9時から、議会運営委員会を開催し、委員4名全員の出席をいただくと共に、地方自治法並びに議会会議規則の規定に基づき、議長の出席を求め、執行部から町長、副町長及び担当課長の出席のもとに、令和7年第2回木曾岬町議会定例会における日程及び付議事件等について、協議を行いましたので、その審査経過と結果を報告します。

委員会では、まず、三輪町長より今期定例会に向けての挨拶と、提出される議案の大綱について説明を受け、担当課長から、その議案の概要説明を受け審査に入りました。

説明を受けました議案の内容は割愛しますが、本定例会初日に提出される議案は、一般会計の補正予算案1件、特別会計の補正予算案1件、企業会計の補正予算案2件、条例の一部改正案5件の9件で、他に報告案件4件、同意案件1件合わせて14件です。

これらの議案について十分に内容を審査した結果、いずれも重要な案件であることを本委員会は認識し、すべてを今期定例会で審議する議案として承認しました。

次に、本定例会の会期日程についての審査では、先ほど申しました審議議案の状況を考慮し、本会議で議案を審議するものとし、会期については本日9日から18日までの10日間とし、十分な審議を尽くしていただくことで承認しました。

次に、本定例会の議事日程でございますが、本日の日程は、この後、三輪町長から所信表明を行っていただくこととなっております。

この所信表明が終わりました後に議案名を省略させていただきますが、最初に議案第29号から議案第37号の9議案を一括上程していただきます。

この上程しました9議案について、三輪町長に提案理由説明を求め、担当課長から詳細な説明を行っていただきます。

続いて、報告第1号から報告第4号までの4議案を一括上程し、町長から上程議案の提案理由の説明を受け、担当課長から詳細な説明を行っていただきます。

以上をもって、令和7年第2回定例会の初日を散会させていただきます。

なお、本定例会では議案等の審議については、委員会付託を省略して、本会議で審議すべきとなりました。

次に、定例会は6月13日、午前9時から再開し、最初に一般質問を行っていただきます。

一般質問の通告は3名の方が通告されており、この一般質問の取り扱いを審査しましたところ、それぞれ受け付け順に質問し、答弁をいただくこととしましたので、よろしくお願いたします。なお、発言は協議会関係例規に基づいて行っていただきます。

この一般質問を終えたのち、議案第29号から議案第37号までの9議案を一括上程し、それぞれの議案に対する質疑を個別に行っていただきます。

続いて、報告第1号から報告第4号までの4議案を一括上程し、個別に質疑を行っていただき、議会への報告は終了とします。

以上をもって、13日の本会議は散会とさせていただきます。

次に、定例会最終日は6月18日、午前9時から再開し、議案第29号から議案第37号までの9議案を一括上程し、討論を行っていただきます。

なお、議案に対する討論は一括討論とさせていただきますが、議案採決については、それぞれ1議案ごとに行っていただきます。

以上の審議の終了をもって、閉会宣言をしていただき、令和7年第2回定例会は閉会とさせていただきます。

以上、議会運営委員会の審議結果報告とさせていただきます。

令和7年6月9日、議会運営委員会委員長、加藤真人。

○議長（服部英二夫議員） ありがとうございます。

議会運営委員の皆様、当日の審査、ご苦労さまでした。

ここで皆様にお諮りいたします。

ただいま議会運営委員長より、今期定例会の会期は、本日6月9日から6月18日までの10日間とする旨の報告がございました。よって、本定例会の会期は、委員長報告のとおり、本日から6月18日までの10日間にしたいと存じますが、これにご異議ございませんか。

「異議なし」の声あり

○議長（服部英二夫議員） 異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は、本日から6月18日までの10日間と決定いたしました。

日程第3 所信表明について

○議長（服部英二夫議員） 次に、日程第3、所信表明についてを議題とします。

三輪町長より、所信表明をお願いいたします。

○町長（三輪一雅町長） 議長。

○議長（服部英二夫員） 三輪町長。

○町長（三輪一雅町長） 議長より許可をいただきましたので、所信表明をさせていただきます。

改めまして、皆さま、おはようございます。

本日は、令和7年第2回木曾岬町議会定例会を招集させていただきましたところ、全議員ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

私は、去る4月20日に執行されました木曾岬町長選挙において、多くの町民の皆様からご支援を賜り、木曾岬町長の職を拝命することとなりました。

そして5月5日に正式に就任いたしましたところでございます。

今回の選挙を通じて、皆様からご支援をいただいたことに改めまして、心より感謝を申し上げる次第でございます。

また、町長としての職責の重さを深く痛感しておるところでございます。この思いを胸に一層職務に励んでいく所存であります。

そして、私はこの4期16年間の木曾岬町議会議員として町政に関わってきましたが、この経験を最大限に生かし、町長の立場から新たな視点で次代を創ってまいります。

明治時代の実業家、五代友厚の残した言葉に「地位か、名誉か、金か、いや、大切なのは目的だ」という言葉があります。

私はこの言葉が好きで、政治の世界に入った時から、常にこの言葉を意識して仕事をしてきました。

地位や名誉を守ろうとするあまり、本来の目的を見失ったり、たどり着くまでに遠回りをしてしまっは本末転倒です。また、お金も給与をいただいているのですから、それ以上に政治資金などを求める必要性も感じておりません。

大切なのは目的です。それは町民の皆さんが安心して暮らしていける町を創り導くことです。

それが私の政治的な使命、そのものであると言っても過言ではありません。

さて、このところの木曾岬町は人口減少が著しく、少子高齢化が急速に進んでいます。

16年前でもその可能性については把握しつつも、その対応策は十分に機能してこなかったと言わざるを得ません。

これは木曾岬町だけの課題ではなく、日本全国、特に小さい自治体で起こっていることで、国の人口が減少する中では、人口をV字回復することは現実的ではなくなり、それをいかに緩やかにしていくかが、今後の局面になってきたと捉えています。

今回の選挙において、私は全方位サポート計画と銘打った、大きくは8つの項目の公約を掲げ、赤ちゃんから高齢者まで、少しでも町がより良くなる、住みやすくなるような公約を出させていただきました。

赤ちゃんのオムツ無償化、防犯対策、外国人と自治会のトラブル対策、自動車解体ヤー

ド問題、木曾岬干拓地の道路や企業誘致、就農支援など、詳細な内容は、13日の一般質問でお答えすることになっておりますので、この場では割愛いたしますが、これらを実行できたとしても、人口減少を食いとめることは至難です。それでもそれを少しでも緩やかにし、バランスをとりながら、持続可能な町にしていくことが最重要課題と考えています。

行政面では、他の自治体と比較するとDXが遅れていると考えており、これらを一段と前に進めてまいりたい。

私は現在59歳で、インターネットの黎明期から関わっていましたので、アナログしか使えない方の気持ちも分かりますし、この辺りのバランスを考慮しつつも、デジタルの良い面については、今後一層進めていくべきだと考えております。

私は町議会議員の仕事以外では、機械設計の仕事を約40年してきました。

そしてその間、モノづくりの概念を叩き込まれ、無駄を極力排除、時間で言えば0.1秒を短縮するにはどうすべきか。ねじを1つ減らすにはどうすべきかを教えられました。

人間はモノではありませんので、そのまま全てが当てはまるとは考えておりませんが、これまで以上に効率的に業務が進められるよう、私自身も鋭意努めてまいります。

そして必要に応じて業務改善ができる場所には、積極的に投資をしていきたいと考えております。

それから、木曾岬町のような小さな自治体では、意思決定においては、トップダウン型とボトムアップ型の双方の利点を的確に組み合わせていくことが極めて重要だと考えています。

トップダウンは、迅速な判断と行動が可能となり、組織全体の統一感と推進力を生み出します。

一方ボトムアップでは、多様な知見や視点を生かすことにより、より実効性の高い施策の立案や現実的な課題解決に繋がります。

これら双方の特性を柔軟に活用することで、実践的な組織運営が可能となります。

私たちのような小さな自治体においては、限られた人員の中で業務を進める必要があり、柔軟な対応が難しい場面の多々あるかと存じます。そのような中であっても、皆様のお力添えなくしては、より良いまちづくりを実現することはできません。

職員の皆様方はもとより、町議会議員の皆様方、そして町民の皆様方のご意見やご提案を積極的にお寄せいただき、課題に向け、ともに考えていきたいと考えています。

今、私たちが直面している課題は、これまで以上に大きく、複雑さを増しています。

だからこそ私はここで強くお願いをしたいのです。

私1人では到底成し得ないことも、皆様と一緒にすれば、必ずや実現できます。

困難は続くでしょうが、それを乗り越え、未来を切り開くためには、皆様お1人おひと

りの力が何よりも不可欠です。

私たちが共に歩み、支え合うことで、きっと素晴らしい成果を得ることができると信じています。

どうか力を合わせて、誇りあるまちづくりに邁進してまいりましょう。

ご清聴ありがとうございました。

○議長（服部英二夫議員） 三輪町長の所信表明が終わりました。

日程第 4 議案第 29号 令和7年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算（第1号）
について

日程第 5 議案第 30号 令和7年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計補正
予算（第1号）について

日程第 6 議案第 31号 令和7年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計補正予算
（第1号）について

日程第 7 議案第 32号 令和7年度三重県桑名郡木曾岬町水道事業会計補正予算（第
1号）について

日程第 8 議案第 33号 木曾岬町公共下水道条例の一部を改正する条例の制度につい
て

日程第 9 議案第 34号 木曾岬町農業集落排水処理施設の管理に関する条例の一部を
改正する条例の制定について

日程第 10 議案第 35号 木曾岬町給水条例の一部を改正する条例の制定について

日程第 11 議案第 36号 木曾岬町夢とふれあい教育基金条例の一部を改正する条例の
制定について

日程第 12 議案第 37号 木曾岬町夢ささえあいのまち福祉基金条例の一部を改正する
条例の制定について

○議長（服部英二夫議員） 次に、日程第4、議案第29号令和7年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算（第1号）についてから、日程第12、議案第37号、木曾岬町夢ささえあいのまち福祉基金条例の一部を改正する条例の制定についての9議案を一括上程し、これを議題とします。

上程しました会議、議件名を議会事務局長に朗読させます。

○議会事務局長（伊藤雅人課長） 議長。

○議長（服部英二夫議員） 伊藤議会事務局長。

〔職員朗読〕

○議長（服部英二夫議員） 会議、議件名の朗読が終わりました。

ここで、三輪町長に、提案理由の説明を求めます。

○町長（三輪一雅町長） 議長。

○議長（服部英二夫議員） 三輪町長。

○町長（三輪一雅町長） ただいま、上程を賜りました議案第29号から議案第37号までの9議案につきまして、その提案理由を申し上げます。

まず、議案第29号、令和7年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算（第1号）についてでございますが、このたびの補正は、既決予算額に歳入歳出それぞれ4億5,700万円を追加し、予算の総額を39億3,900万円とするものでございます。

補正の主な内容を申し上げます。

総務費では、内部情報系システム及び使用機器の更新業務に係る経費や、町の活性化に寄与することを目的に発足された団体に対する補助金を計上するとともに、新たに防犯対策を講じた世帯に交付する補助金を計上し、民生費では、定額減税補足給付金を支給するための経費や、子育て支援事業に要する経費を計上するとともに、こども園のオムツの無償化に要する経費を計上するものでございます。

衛生費では、物価高騰に対する支援として、全世帯と事業所を対象に、3期、6か月分の水道基本料金を減免するための経費や、第2期健康増進計画および食育推進計画の策定に要する経費を計上し、農林水産業費では、ふれあい農園として利用していた土地を所有者に返却するために必要な整備工事に係る経費を計上するものでございます。

土木費では、町道4路線の修繕工事および外平喜・小学校線避難路整備工事に要する経費や、空家等実態調査に要する経費を計上するとともに、令和6年度に行った都市計画基礎調査により判明した用途地域の見直しに要する経費について計上するものでございます。

消防費では、第4分団の消防ポンプ車を購入するための経費や、雁ヶ地地内の防火水槽を撤去するための経費を計上するとともに、避難場所に指定している中学校西館屋上の照明機器を更新するための経費を計上し、教育費では、町体育館の屋根及び外壁の改修工事や、小学校ふれあいホールの空調設備の更新、及び木曾川グラウンドのバックネットの更新に係る経費を計上するものでございます。

以上が歳出予算の主なものでございます。

なお、これに対する歳入予算は、該当事業に対する国・県補助金及び地方債を計上するものでございます。

次に、議案第30号、令和7年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についてでございますが、このたびの補正は、既決予算額に歳入歳出それぞれ66万7,000円を追加し、予算の総額を7億866万7,000円とするものでございます。

国保ヘルスアップ事業を活用した「健康増進に関する事業」として、ライザップとの連携により、健康改善セミナーを行うものでございます。

なお、歳入予算においては、特別交付金30万円、一般会計繰入金36万7,000円を計上するものでございます。

次に、議案第31号、三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計補正予算（第1号）についてでございますが、このたびの補正は、既決予算額に歳入歳出それぞれ3,580万円を追加し、予算の総額を4億4,131万円とするものでございます。

補正の主な内容は、歳入では、一般会計からの繰入金を増額を行い、歳出では、東部地区クリーンセンターにおける故障機器の修繕工事と、処理場統廃合に係る調査業務を予定することから、これらに係る所要の額を計上するものでございます。

次に、議案第32号、三重県桑名郡木曾岬町水道事業会計補正予算（第1号）についてでございますが、収益的収入及び支出では、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して実施する水道基本料金の免除に係る対応費用を計上するほか、施設修繕工事や町からの受託工事などに要する支出として538万2,000円を追加し、資本的支出では老朽化した水道管の布設替え工事に要する経費1,232万円の追加を行うものでございます。

次に、議案第33号、木曾岬町公共下水道条例の一部を改正する条例の制定について、および、議案第34号、木曾岬町農業集落排水処理施設の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、国の標準下水道条例において、災害時等に迅速に復旧工事が行えるよう緊急時における指定工事店の要件緩和に係る改正がなされたことから、これに関連する町条例の一部を改正するものでございます。

次に、議案第35号、木曾岬町給水条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、災害時等の復旧遅延を防止するためには、給水装置においても緊急時における指定事業者の要件緩和が必要であると国から技術的助言がなされたことに伴い、本条例の一部を改正するものでございます。

次に、議案第36号、木曾岬町夢とふれあい教育基金条例の一部を改正せず改正する条例の制定について、および議案第37号、木曾岬町夢ささえあいのまち福祉基金条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、それぞれの基金へ新たな指定寄附を受けましたので、これに基づき本条例の一部を改正するものでございます。

以上、上程を賜りました9議案の提案理由説明とさせていただきます。

なお、詳細につきましては、それぞれの担当課長から説明いたさせますので、十分なご審議を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（服部英二夫議員） 三輪町長の提案理由説明が終わりました。

続いて、事務当局の詳細説明を求めます。

○総務政策課長（小島裕紹課長） 議長。

○議長（服部英二夫議員） 小島総務政策課長。

○総務政策課長（小島裕紹課長） それでは、議案第29号、令和7年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算（第1号）についてご説明申し上げます。

令和7年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算（第1号）は次に定めるところによ

るというものでございます。

第1条第1項では、既決予算額に歳入歳出それぞれ4億5,700万円を追加いたしまして、予算の総額を39億3,900万円とし、第2項では、補正の款項の区分及び区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額を「第1表 歳入歳出予算補正」に定めることを規定するものでございます。

なお、債務負担行為につきましては「第2表 債務負担行為補正」で4つの事項について、それぞれの期間及び限度額を追加しております。

また、地方債の補正につきましては「第3表 地方債補正」で、2つの起債の目的につきまして、その限度額を変更する旨をお示ししておりますので、ご確認をお願いいたします。

それでは次に、令和7年度6月補正予算、予算事業概要書において説明をさせていただきます。

この度の補正予算につきましては、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を初めとする、国庫支出金や繰入金、町債などの歳入の増、並びに、当初予算編成後の重要性、緊急性のある経費につきまして、それぞれ所要の措置を講ずるものでございます。

今回補正をお願いしようとする会計は、一般会計と国民健康保険特別会計、下水道事業会計、水道事業会計の4会計であり、一般会計では4億5,700万円を追加いたしまして、補正後の額を39億3,900万円に、また、国民健康保険特別会計では66万7,000円を追加いたしまして、特別会計全体での補正後の額を16億266万7,000円、下水道事業会計では3,580万円を追加いたしまして、6億2,979万4,000円、水道事業会計で1,770万2,000円を追加いたしまして、2億4,062万9,000円にするものでございます。

なお、これらの補正によりまして、全7会計での補正後の予算額は、64億1,209万円となります。

本資料には、それぞれの会計の補正予算の内容につきまして、その要点を記載させていただいております。

始めに、一般会計の歳入の要点についてでございますが、このたびの補正では8つの款においてそれぞれ所要の補正を行っております。

分担金および負担金では、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、小中学校の給食費の一部を減免することから、624万6,000円を減額し、国庫支出金では物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、防災・安全交付金など併せて7,888万7,000円を増額するものでございます。

続く、県支出金では、本年9月に執行が予定されている三重県知事選挙におきまして、同日に三重県議会議員補欠選挙を執行される予定となったことから、科目変更及び補欠選挙分を追加計上すると共に、みえ子ども・子育て応援総合補助金や、地域減災力強化推進

補助金など併せて614万9,000円を増額し、財産収入では住宅基金利子を追加計上するものでございます。

続く、寄附金では「夢ささえあいのまち福祉基金」及び「夢とふれあい教育基金」で併せて200万円の増額をし、繰入金は減債基金繰入金、ふるさと応援寄付金基金繰入金及び財政調整基金からの繰入金として1億8,000万円を増額するものでございます。

また諸収入では、農業者年金事務受託金など30万3,000円を増額し、最期8つ目の町債では、町体育館の屋根及び外壁修繕や、小学校ふれあいホールの空調機器修繕、消防ポンプ車の購入、町道の維持補修や新設改良などに対する起債としまして、1億9,959万円を増額するものでございます。

以上が歳入の主な内容となります。

次に、歳出の要点についてでございますが、歳出では10の款において、それぞれ所要の補正を行っており、本資料では、それらの概要について記載をさせていただいております。

これらの詳細につきましては、この後、各担当課長より説明をさせていただきます。

また、国民健康保険特別会計、下水道事業会計及び水道事業会計それぞれの補正内容につきましても、概要を記載させていただいておりますので、ご確認をお願いいたします。

それでは一般会計の補正予算の歳出につきまして、歳出予算書（事業説明）を用いまして総務政策課より順に説明をさせていただきます。

事業名、一般管理費、補正予算額は51万9,000円でございます。

使用料におきまして、本年2月ごろから全国の自治体で公用車に設置してあるカーナビに係るNHK受信料の未払い問題が次々と発表されていることを受け、当町におきましても調査を行った結果、当町が所有する全22台の公用車のうち、5台に設置されているカーナビでテレビ放送が受信できることが確認できましたので、この未払い分を支出するための費用44万2,000円を計上するものでございます。

なお、今回対象となりました公用車5台のうち、3台が購入車両、2台がリース車両であったことから、購入車両3台のカーナビにつきましては、本年4月にテレビアンテナの取り外しを行い、以後、テレビ放送が受信できないような措置を講じております。このことから、この3台につきましては、それぞれの登録年月から令和7年3月までの未払い分を支払い、それ以降の支払い義務は負わないものとし、残りのリース車両の2台分につきましては、それぞれの登録年月から令和7年3月までの未払い分に加え、令和7年4月以降の受信料1台当たり年額6,138円を支払うこととなりますので、この2台分1万3,000円を予算計上するものでございます。

またBGM月額利用料6万4,000円につきましては、本年3月から庁舎内で試験的に運用しているユーセンを活用したBGMにつきまして、町民の皆様からご好評をいただきましたので、本格運用するための料金（6月から10月分）を計上しているものでござい

ます。

次に、事業名、庁舎等施設維持管理経費、補正予算額は69万2,000円でございます。

庁舎1階、会計課の横に設置をしておりますAEDにつきまして、設置から8年が経過し、更新する必要があることから、この更新に係る経費を計上するとともに、毎年行っている庁舎及び福祉教育センターの消防用設備点検において、不具合として指摘されました箇所について修繕するための費用を計上するものでございます。

続きまして、事業名、まち・ひと・しごと創生事業費の補正予算額は507万4,000円でございます。

地方創生活動団体補助金500万円は、ふるさとそさき応援基金を財源といたしまして、ローカルスタートアップ・エコシステム事業を基軸とした施策等を行いながら、町の活性化を目指すことを目的に発足されました団体に対する補助金として計上するものでございます。

また、日本語教室開設事業補助金7万4,000円は、令和7年度より社会福祉協議会が開校しようとする日本語教室に対しまして、地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業国庫補助金の内定がおりたことに伴いまして、社会福祉協議会への補助金として計上するものでございます。

続きまして、事業名、三重県知事選挙費、補正予算額は590万2,000円の減額でございます。

本年9月に執行が予定されております三重県知事選挙におきまして、同日に、三重県議会議員補欠選挙の執行される予定となっていることから、本事業費をすべて減額といたしまして、新たに「三重県知事・県議会議員選挙費」という事業に振り替えを行おうとするものでございます。

続きまして、事業名、三重県知事・三重県議会議員選挙費、補正予算額は676万5,000円でございます。

三重県知事選挙費から振り替えた590万2,000円に、三重県議会議員補欠選挙の事務執行経費を追加をして計上するものでございます。

続きまして、事業名、都市計画総務費、補正予算額は782万1,000円でございます。

令和6年度に実施いたしました「都市計画基礎調査」の調査結果に基づきまして、用途地域と現況使用用途とのずれが生じている箇所につきまして、これを是正するために必要な調査・分析及び変更協議図書等の作成に要する経費を計上するもので、「ふるさとそさき応援基金」を財源に実施をしようとするものでございます。

続きまして、事業名、地方債元金償還金と、次ページの事業名、地方債利子償還金についてでございますが、両事業とも減債基金充当に伴いまして、財源振替を行うものでござ

います。

続きまして事業名、予備費、補正予算額は14万5,000円の減額でございます。

地方自治法に定める予備費で本補正予算の歳入歳出の均衡を図るものでございます。

総務政策課所管は以上でございます。

○住民課（伊藤正典課長） 続きまして住民課所管分について説明をさせていただきます。

事業名、個人情報カード事業費、補正予算額29万5,000円の増額でございます。

木曾岬郵便局に設置する統合端末の機器使用料を計上するものでございます。

財源内訳の国庫支出金は、費用の全額を個人番号カード交付補助金で見込むものでございます。

続きまして、事業名、国民健康保険特別会計繰出金、補正予算額36万7,000円の増額でございます。

保健事業費助成繰出金を計上するものでございます。

続きまして、事業名、火葬場運営事業、補正予算額78万5,000円の増額でございます。

斎場利用者の暑さ対策として、エアコン新設1基の設置、また平成12年に購入した掃除機1台の更新費用を計上するものでございます。

住民課所管分の説明は以上でございます。

○福祉課長（黒田和弘課長） 続きまして、福祉課所管部分でございます。

事業名、社会福祉総務費では補正予算額100万円でございます。

新たに「夢ささえあいのまち福祉基金」へのご寄附をいただいたことに伴いまして、同基金への積立金を追加するものでございます。

次に、事業名、老人福祉費では、補正予算額462万5,000円でございます。

令和7年度・8年度の2カ年で策定を予定しております「木曾岬町高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定業務にかかる費用で、今年度につきましては対象者へのアンケート調査を実施する予定をしております。

次に、事業名、障がい者福祉費では、補正予算額479万8,000円でございます。

障害者自立支援給付審査支払等システムの改修に伴う電算委託料及び、令和7年度・8年度で策定を予定しております。「第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画」の策定業務委託料で、その内容につきましては補正理由欄に記載の通りでございます。

次に、事業名、定額減税補足給付金では、補正予算額5,613万円でございます。

国によるデフレ完全脱却のための総合経済対策における物価高への支援において、新たな経済対策に向けた給付金・定額減税一体措置として、定額減税しきれない方への給付を実施するもので、給付対象者を1200名と、見込み、その給付金4,800万円のほか、事務費について計上するもので、詳細につきましては補正理由欄に記載の通りでございます。

す。

これにつきましては、国庫支出金の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を財源としております。

福祉課所管部分については以上でございます。

○子ども・健康課長（佐藤信恵課長） 続きまして、子ども・健康課所管部分について説明させていただきます。

事業名、児童福祉事業では、補正予算額95万5,000円でございます。

児童相談システムの改修にかかる費用の他、夜間休日等の相談体制を強化するための委託料を追加させていただくものでございます。

事業名、子育て支援事業では、補正予算額780万7,000円でございます。

相談支援体制強化のために配置している保育士の人件費のほか、新たに在宅等で育児をしている家庭を支援するための在宅等育児支援事業に係る費用を追加するもので、補正理由欄記載の通りでございます。なお、在宅等育児支援事業に関する費用については「みえ子ども・子育て応援総合補助金」を財源としております。

事業名、こども園運営費では、補正予算額101万1,000円でございます。

新たに実施するこども園のおむつの無償化に係る費用のほか、経年劣化による状態が悪くなった保健室のベッドなど備品購入に要する費用を追加するものでございます。

事業名、維持管理費では、補正予算額272万7,000円でございます。

こども園の防犯カメラの設置や転落防止強化パネルの設置に係る工事費用の他、乳児ほふく室の畳や、消防設備の機器の修繕にかかる費用を追加させていただくもので、補正理由欄記載の通りでございます。なお、防犯カメラの設置に関する費用については「みえ子ども・子育て応援総合補助金」を財源としております。

事業名、保健施設費では、補正予算額23万6,000円でございます。

保健センター内の消防設備の修繕に要する費用のほか、補正理由欄に記載の通りでございます。

事業名、予防費では、予算額の変更はございませんが、子どものインフルエンザの予防接種費用について、このたび、県の補助金である「みえ子ども・子育て応援総合補助金」の交付決定を受けたことにより、財源の振り替えを行うものでございます。

事業名、健康増進事業費では、補正予算額504万1,000円でございます。

第2期木曾岬町健康増進計画・食育推進計画策定に係る委託料などの費用を追加させていただくもので、補正理由欄に記載の通りでございます。

子ども・健康課所管部分の説明は以上でございます。

○産業課長（中山重徳課長） 続きまして、産業課所管分について説明させていただきます。

事業名、ふれあい農園費、補正予算額は1,179万2,000円の増額でございます。

令和8年3月末日をもって、ふれあい農園を閉園し、地権者に農地を返却するため、圃場の復旧並びに残置物の処分を行うための経費を計上するものでございます。

次に、事業名、有害鳥獣等対策事業費、補正予算額は2万4,000円の増額でございます。

町内の農作物に被害を与える野生の動物等を職員が捕獲する上で、必要な資格を取得するための経費一式1名分を計上するものでございます。

次に、事業名、産業文化祭費、補正予算額は40万円の増額でございます。

令和8年3月に実施予定の伸びゆく木曾岬町のふれあい広場については、令和7年度当初予算にて、実行委員会への補助金として前年度同額の440万円を計上させていただいておりますが、昨今の物価上昇を鑑み、より皆さんに楽しんでいただけるようなイベントにするため、40万円の追加計上するものでございます。

次に、事業名、観光費、補正予算額は6万円の増額でございます。

現在、大阪市で開催中の大阪・関西万博の一角において、木曾岬町の観光PR並びに町内の企業PRとして出店できることになったことから、これに係る町職員2名分の旅費等を計上するものでございます。

なお、ページ最下段、特定外来生物防除等対策事業交付金につきましては、国の採択を受けることができましたが、交付金の額が想定を下回ったことから、財源の振替を行うものでございます。

産業課所管分は以上でございます。

○建設課（中里満博課長） 続いて建設課所管分になります。

事業名、上水道事業費でございます。1,750万円を新たに計上するものでございます。

負担金、補助及び交付金において、物価高騰対策の支援として、水道基本料金を免除するための予算として1,728万円を、免除措置に係るシステム対応費用として22万円をそれぞれ計上し、水道事業会計へ補助するものでございます。歳入の内訳としまして、物価高騰対応、重点支援、地方創生臨時交付金1,750万円を特定財源としております。

続きまして、事業名、土木総務費でございますが、28万円を追加し、補正後の予算額を289万3,000円とするものでございます。

役場駐車場において、公用車による物損事故が発生したため、これに係る公用車の修繕費用を計上するものでございます。

続きまして、事業名、道路橋梁維持費でございます。5,089万3,000円を追加し、補正後の予算額を1億1,797万4,000円とするものでございます。

修繕工事において、町道加路戸・田代線路肩改修工事として539万円を計上し、土砂の流出により法面が崩壊した路肩の改修工、施工延長130メートルを予定するものでございます。施工場所は田代地内でございます。

また、町道鍋田川線舗装修繕工事3,260万5,000円。町道脇付・川先線舗装修繕工事752万6,000円、町道雁ヶ地団地1号線他1路線舗装修繕工事537万1,000円を舗装修繕工事費として計上してございます。町道鍋田川線については、和泉地内における切削オーバーレイ工を430メートル、町道脇付・川先線は三崎地内における舗装打ち換え工280メートル。町道雁ヶ地団地1号線他1路線は、雁ヶ地地内、田代住宅でございますが、148メートルの舗装打ち換え工を予定してございます。

なお、歳入の内訳でございますが、緊急自然災害対策事業債5,080万円を特定財源としております。

続いて、事業名、道路新設改良費でございますが、601万9000円を追加し、補正後の予算額を3,979万4,000円とするものでございます。

工事請負費において、町道外平喜・小学校線の避難路整備工事として、600万円を計上してございます。西対海地における水路へのグレーチング蓋掛工とラバーポール設置工、令和3年度からの継続事業でございますが、施工延長25メートルを予定しております。

また、歳入内訳でございますが、公共事業等債150万円、社会資本整備総合交付金250万円。地域減災力強化推進補助金、県の補助金でございますが83万3,000円を特定財源としております。

次に、事業名、都市下水路費でございますが、117万9,000円を追加し、補正後の予算額を254万円とするものでございます。

委託料において、見入辰高地内における都市下水路に堆積した土砂等の清掃費用を計上するもので、清掃する延長が110メートルを予定しております。

次に、事業名、公共下水道費でございますが、3,580万円を追加し、補正後の予算額を1億9,900万円とするものでございます。

下水道事業会計への繰出金でございますが、本科目の事業説明につきましては、下水道事業会計補正予算にて別途説明をさせていただきます。

次に、住宅管理費でございますが、706万8,000円を追加し、補正後の予算額を1,254万3,000円とするものでございます。

主なものとしましては、委託料において空家等実態調査業務として476万6,000円、空家等対策計画更新業務として220万3,000円を計上しております。これらは、空家等対策計画に基づく5年毎の実態調査でございまして、空家の実態を適切に把握するとともに、既存の空家等対策計画を見直し、実態に即した実行力のある計画に更新するための費用でございます。

なお、歳入内訳でございますが、住宅基金利子7,000円と空き家対策総合支援事業補助金169万8,000円を特定財源としております。

建設課所管部分は以上でございます。

○危機管理課長（坂倉丈夫課長） 続きまして危機管理課所管分についてご説明させていただきます。

事業名、高度情報処理対策費、補正予算額 2,757万4,000円の増額でございます。

財務会計や文書管理などの内部情報系システムの10月末の保守委託契約終了に伴うシステム更新及びシステム更新後の保守委託料や、特定個人情報用の中間サーバの第三次システムへの移行、ネットワーク機器のハード保守委託契約終了に伴う機器の更新、ファイルサーバの容量不足による容量の増強、内部情報系と外部情報系の職員用パソコンの更新を実施するため、委託料と備品購入費の増額を行うものでございます。

事業名、自主運行バス運行事業費、補正予算額 290万1,000円の増額でございます。

県道道路改良工事終了に伴う自主運行バスの迂回運行終了に伴う案内チラシ等の印刷費と、バス車両内の音声・電光掲示の改修費、12月に予定しています町所有予備車両のリース化による新車両の4ヶ月分のリース料、停留所における歩車道境界ブロック入替整備工事、近鉄弥富駅などの停留所用ベンチの購入費など、需用費、役務費、委託料、使用料、工事請負費、備品購入費の増額を行うものでございます。

事業名、防犯事業経費、補正予算額 300万円の増額でございます。

町内における犯罪の発生を未然に防止し、町民の皆さんの防犯意識の高揚と、安全・安心なまちづくりの推進を図るため、今回新たに、各家庭において居住する住宅等に対して実施する、防犯カメラやセンサーライト、迷惑電話防止機能付電話の取付けなど、住宅等への侵入防止対策や特殊詐欺への対策を補助対象とする、補助率2分の1、1世帯当たり上限額3万円の木曾岬町防犯対策補助金制度の導入に伴う100世帯分300万円の補助金の増額を行うものでございます。

事業名、消防施設経費、補正予算額 1,993万3,000円の増額でございます。

第4分団小型動力ポンプ付普通積載車の購入費や雁ヶ地地内における防火水槽の撤去及び消火栓設置工事の負担金など、役務費、備品購入費、負担金、公課費の増額を行うものでございます。また小型動力ポンプ付普通積載車の購入につきましては、地方債を特定財源とすることから、歳入の地方債を1,600万円計上するものでございます。

事業名、災害対策経費、補正予算額 443万8,000円の増額でございます。

2月に東京で開催されます、タイムライン防災カンファレンスへの旅費、災害時における新たな通信手段を確保するための衛星携帯電話2台の購入費とその使用料、避難場所及び避難所に設置しています震度5弱以上の揺れを感知して開錠する防災ボックス、20ヶ所分の扉についてダイヤル番号でも開錠できる扉への交換工事、避難場所である中学校西館屋上の照明6基の更新工事などの実施による、旅費、役務費、工事請負費、備品購入費の増額を行うものでございます。

危機管理課所管部の説明につきましては以上でございます。

○教育課長（村上強課長） 続きまして、教育課所管分について説明を申し上げます。

事業名、教育委員会費です。教育委員会視察研修旅費として16万3,000円を計上するものです。

これは2年に1回教育委員の皆さんに視察研修を受けていただくための旅費です。

続きまして、事業名、夢とふれあい教育基金事業です。

前町長、加藤隆様からご寄付を受けたことにより、夢とふれあい教育基金へ積み立てを行うものです。その積立額は100万円です。

続きまして、事業名、教育総務経費です。第3期木曾岬町教育振興基本計画の製本費24万1,000円を計上するものです。

これは令和8年1月を目標に策定を進めております、第3期教育振興基本計画について、策定後に印刷し製本をするための経費です。

続きまして事業名、学校教育経費です。教育情報化コーディネータ業務委託料として8万円を計上するものです。

これは、GIGAスクールでの教育委員会の統括する教育の情報化、教科教育におけるICT活用やICT環境整備に係る事項について、コーディネータに専門的知識を持って、総合調整等を行ってもらうことで情報教育の向上を図るためのものがございます。

続きまして、事業名、人権教育研究指定校事業です。人権教育に係る講演などの講師代のほかの経費として、17万7,000円を計上するものです。

これは、木曾岬小学校において、学校、家庭、地域社会が一体となった教育上の総合的な研究や地域の実態や人権課題を明確にし、学校における人権教育に関する指導方法の改善及び充実に資することを目的とした実践的な研究等を実施し、人権教育の一層の推進を図るものです。この補正予算額のうち17万円は県支出金を財源としております。

続きまして、事業名、公民館経費です。公民館のエアコンの修繕費や消防設備保安業務にて修繕の指摘を受けました消防用設備修繕として、自動火災報知機設備の修繕に係る経費として、153万6,000円を計上するものであります。

続きまして、事業名、文化資料館費です。建屋修繕工事実施設計業務委託料として413万6,000円を計上するものです。

これは、現在文化資料館は雨漏りがひどく、ブルーシートを敷くなどの対策をしながら開館をしており、修繕工事の内容を実施設計するための業務を発注するための経費であります。

続きまして、事業名、町体育館経費です。先の町議会全員協議会でもご説明いたしました町体育館の、屋根及び外装改修工事や、その工事の監督支援を受けるための委託料、消防設備保安業務にて修繕の指摘を受けました消防用設備修繕、掃除道具入れの更新などとして9,085万2,000円を計上するものです。

このうち、先日ご指摘をいただきました町体育館の屋根及び外壁工事のうち、窓ガラスに貼る遮熱フィルムの代わりに塗装することの比較について、設計者にアドバイスをいただきましたので、ご説明をさせていただきます。

塗装に比べ、施工性の面、メンテナンスの面、コストの面について、フィルムを張る方が優位性があるという考え方から、設計書に遮熱フィルムを貼る工法を盛り込んだということであり、当課といたしましても、そのアドバイスを了承いたしましたので、その工法で進めたいと考えております。

続きまして、事業名、木曾川グラウンド経費です。第1グラウンドバックネット更新工事として、341万円を計上するものです。

これは第1グラウンドのバックネットについて、以前から河川管理者である国土交通省木曾川下流河川事務所より、河川占用の許可条件に基づき、出水時の移動の指摘を受けておりましたが、本体が重量物で移動が容易ではないということから、これまで移動せずに済ませてきたという状況もありました。このことから、出水時に容易に対応できるものに更新し、現在あるバックネットを小学校グラウンドに移設することにしたいと考えましたので、その経費を計上させていただいたものであります。また、この予算額には第2グラウンドのバックネットの修繕も含ませていただきました。長年の使用によりネットの破れや、バックネットのフレームの変形がありますので、その修繕対応も今回の予算に計上させていただいたところであります。

続きまして、事業名、ちびっこ広場経費です。防球ネット修繕工事とトイレ修繕工事、計115万1,000円を計上するものであります。

これは現地の外周に張ってある防球ネットがかなりの範囲で裂けたり破れたりしております。また、広場の隅にある簡易トイレについて、本体下部にある汚水タンクから汚水が外に漏れ出しており不衛生な状況にあることから、修繕の予算を計上したものであります。

続きまして、事業名、学校給食運営費です。給食無償化事業として、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を受け、9月から2月までの6ヶ月間を減免する無償化事業を図るための事業費624万6,000円について、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金から479万3,000円、一般財源より145万3,000円を財源振替するものであります。

続きまして、事業名、給食センター維持管理経費です。備品購入費として、ざる置台、6万2,000円を計上するものです。

これはセンターの調理員から、給食の食材の置き場として、ざるを置く置場が2台分不足しており、購入要望を受け、予算計上をするものであります。

続きまして、事業名、学校維持管理経費です。ふれあいホール空調設備等更新工事については、実施設計業務を当初予算にて実施しており、その設計業務により算出いたしました

た更新工事費や消防設備保安業務にて修繕の指摘を受けました消防用設備修繕、プログラムチャイム交換修繕、校舎2階の空調機室外機に対し鳩除けネット設置、タブレットを使った授業に使用する移動可能な大型ディスプレイ（65インチ）1台の購入などを合わせ、5,447万9,000円を計上するものです。

ふれあいホール空調設備等更新工事費は、空調室内機の取替において天井を剥がすことに合わせ、室内の照明をすべてLED化する計画であります。

続きまして、事業名、教材整備費です。小学校より要望があったとびなわ練習台、走り高跳び用のグラスパー、屋外用ワイヤレスアンプ各1台を購入するため、21万7,000円を計上するものであります。

続きまして、事業名、中学校費維持管理経費です。消防設備保安業務にて修繕の指摘を受けました消防用設備、校舎や武道館の排煙窓、職員室や多目的ホールのブラインドカーテン、体育用具、多目的ホールの音響などの修繕費用370万9,000円を計上するものであります。

事業名、教材整備費です。中学校より要望のあった体育用備品ハードルの10台分の購入費、11万6,000円を計上するものです。

以上、教育課所管部分についての説明でありました。

○議会事務局長（伊藤雅人課長） 続きまして、議会事務局所管分についての説明となります。

事業名、監査委員費425万3,000円を減額、会計年度任用職員の採用により派遣職員に係る委託料を減額するものでございます。なお、会計年度任用職員の人件費につきましては議会費において別途予算計上しております。

議案第29号の説明につきましては以上でございます。

○住民課（伊藤正典課長） 続きまして、議案第30号、令和7年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について説明をさせていただきます。

令和7年度三重県桑名郡木曾岬町の国民健康保険特別会計補正予算（第1号）は、次の定めによるところによる。

第1条第1項では補正額を規定しており、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ66万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ7億866万7,000円とするものでございます。

2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表歳入歳出予算補正によるものでございます。

内容につきましては、歳出予算書で説明させていただきます。

事業名、特定健康診査等事業費、補正予算額66万7,000円の増額でございます。

交付金を活用した健康増進事業を実施するもので、ライザップが実施する健康改善を目的としたセミナーを開催するものでございます。事業の主なものは委託料66万円を計上

しております。事業に対する財源は、特別交付金30万円のほか、一般会計から保健事業費助成事業として36万7,000円を繰り入れるものでございます。なお、当セミナーは、包括ケアの取り組みにより、65歳以上の方が補助対象となりますが、65歳未満の方も参加可能なものとして計画をするものでございます。

以上が、令和7年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の説明でございます。

○建設課（中里満博課長） 続きまして、議案第31号、令和7年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計補正予算（第1号）についてでございます。

第1条、令和7年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによるというものでございます。

第2条では、収益的収入及び支出の補正予算として、収入・支出それぞれ3,580万円を増額し、収入における第1款事業収益と、支出における第1款事業費用をそれぞれ4億4,131万円とするものでございます。

第3条では、4件の債務負担行為を追加し、第4条では、他会計からの補助金の額を改めることを記載してございます。

続きまして、予定キャッシュフロー計算書でございます。

当該年度における現金の増減を、業務活動・投資活動・財務活動に区分して表した計算書でございまして、現金の獲得や支払能力、資金に関する財務情報を表してございます。

下から3行目では、資金の増減額を記載しており、令和7年度末には資金が13万6,000円増加し、最下段、資金期末残高が、1億334万7,000円になることを示しております。詳細につきましては歳出予算書（事業説明）にてご説明をさせていただきます。

第3条予算、収益的収入及び支出でございますが、事業名、処理場費、2,210万円を追加し、補正後の予算額を2億857万5,000円とするものでございます。

補正理由でございますが、東部地区クリーンセンターの消防設備点検結果において、不具合があると指摘を受けた消防設備の修繕対応費用として65万円。落雷等により故障した機器のインバーターユニットなどの電気設備の更新工事費として1,559万8,000円、また、経年劣化によるポンプ等機器の故障に伴う更新工事費として585万2,000円を計上するものでございます。

次に、事業名、総係費1,385万6,000円を追加し、補正後の予算額を3,077万8,000円とするものでございます。

主なものとしたしましては、処理場統廃合基本計画策定業務委託料として1,360万7,000円でございます。この計画でございますが、各排水処理施設の老朽化が進む中、将来にわたってどのような運営を行っていくことが財政面や運用面において最も適切であるか、処理場の統廃合も視野に入れながら、方針検討を進めていこうとするものでございます。基本計画と仮称しておりますが、決して統廃合を前提とするものではなく、性格としましては基本構想や方針検討に近い業務内容でございます。

事業名、予備費15万6,000円を減額し、補正後の予算額を240万7,000円とするものでございます。

この金額をもって歳出補正予算額の調整を行っております。

議案第31号、令和7年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計補正予算（第1号）の説明は以上でございます。

続きまして、議案第32号、令和7年度三重県桑名郡木曾岬町水道事業会計補正予算（第1号）でございます。

第1条、令和7年度三重県桑名郡木曾岬町水道事業会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる、というものでございます。

第2条では、収益的収入及び支出の補正予算として、収入では、第1款事業収益において、319万4,000円を増額し、補正後の予算を1億9,621万9,000円に、支出では、第1款事業費用において、538万2,000円を増額し、補正後の予算を2億558万2,000円とするものでございます。

第3条では、資本的支出の補正予算として、第1款資本的支出において、1,232万円を増額し、補正後の予算を3,504万7,000円とするものでございます。

第4条では、他会計からの補助金として、物価高騰対応重点支援にかかる水道基本料金の減収分について、一般会計から1,750万円を受け入れることを記載しております。

続きまして、予定キャッシュフロー計算書でございますが、当該年度における現金の増減を活動ごとに区分して表した計算書でございますが、現金の獲得や支払能力、資金に関する財務情報を表してございます。

下から3行目では、資金の増減額を記載しており、令和7年度末に資金が、2,330万4,000円減少し、最下段、資金期末残高が9億1,787万6,000円であることを示しております。

詳細につきましては、歳出予算書（事業説明）にてご説明させていただきます。

第3条予算、収益的収入及び支出でございますが、事業名、減水及び浄水費、100万7,000円を追加し、補正後の予算を1億3,421万9,000円とするものでございます。

内容としましては、弘法池受水場の圧力タンクに不具合が生じておりますことから、この修繕に係る修繕工事費を計上するものでございます。

事業名、配水及び給水費140万円を追加し、補正後の予算額を972万4,000円とするものでございます。

内容としましては、上加路戸横断線道路改良工事において、支障物件となる既設水道管の移設を実施するための工事費用でございます。

事業名、受託給付工事費275万5,000円を新たに追加するものでございます。

内容としましては、雁ヶ地地内における防火水槽の撤去と消火栓の新規設置について、

町から受託して工事を実施するための予算措置でございます。なお、歳入内訳でございますが、その他営業収益として一般会計からの受託金 275万5,000円を特定財源としております。

事業名、総係費 22万円を追加し、補正後の予算を 611万1,000円とするものでございます。

内容としましては、物価高騰対応重点支援として、すべての水道利用者を対象とした半年間の水道基本料金の免除を実施するためのシステム対応費用でございます。歳入内訳でございますが、一般会計からの補助金 22万円を特定財源といたしております。一般会計からの補助金につきましては、総額 1,750万円でございますが、このシステム対応費用のほか、給水収益の減収補填分として 1,728万円を別に受け入れるものでございます。

なお、この予算に関連して 1 点ご報告がございます。先の全員協議会において、水道基本料金の免除の開始時期について、7月請求分から実施するというところをご報告させていただきましたが、システムの対応に遅れが生じておりますことから、開始の時期については 1 期分スライドさせていただきました。9月請求分からの開始とさせていただくことで現在調整を進めております。予算と関連する項目ですので、この場を借りてご報告させていただきます。

続きまして、第 4 条予算、資本的収入及び支出でございます。

事業名、施設費 1,232万円を追加し、補正後の予算を 3,316万3,000円とするものでございます。

内容につきましては、老朽化した既設の水道管の更新工事として、第 2 栄地内において水道管布設替え工事を予定するものでございます。

議案第 32 号、令和 7 年度三重県桑名郡木曾岬町水道事業会計補正予算（第 1 号）の説明は以上でございます。

議案第 33 号、木曾岬町公共下水道条例の一部を改正する条例の制定についての説明をさせていただきます。

木曾岬町公共下水道条例の一部を改正する条例を次のとおり定めるものとする、というものでございます。

下段、提案理由です。

国の標準下水道条例の一部改正に伴い、木曾岬町公共下水道条例一部を改正するについては、地方自治法第 96 条第 1 項第 1 号の規定により議会の議決を経る必要があることから、この議案を提出する、というものでございます。

具体的な改正の内容でございますが、新旧対照表にて説明させていただきます。

今回の一部改正でございますが、2つの目的がございます。まず 1 点目は、責任技術者の配置要件の緩和でございます。標準下水道条例及びこれに準拠する町条例では、責任技術者の「専属」を規定してございます。左側、現行の欄、第 6 条第 1 項の中ほどの下線部

をご確認ください。ここに「専属」の規定がございます。

しかしながら、国では、デジタル社会の実現に向けた構造改革を推進しており、「デジタル原則に照らした規制の一括見直しプラン」において、「1人1現場の紐づけ」これはアナログ規制に該当し、改善の対象と位置付けられております。これを受け、標準下水道条例における責任技術者の「専属」義務については改善の必要があるとされ、これを「選任」に見直しを行い、兼務することが可能となる改正が行われました。本町公共下水道条例においても同様に改正案、右側でございますが、「が専属する業者」の規定の部分について、「を選任する業者」に改めることにより、標準下水道条例に準拠させようとするものでございます。

もう1つですが、災害時等における排水設備の復旧遅延を回避することを目的に、緊急の場合に限ってでございますが、他の市町村長が指定する指定工事店であっても、町内の排水設備工事が実施できるようにするというものでございます。

同じく第6条第1項の上段でございますが、現行条例では括弧書きにて「管理者が定める軽微な工事を除く。」と除外の要件が規定されておりますが、この度、災害時における除外要件を新たに追加する必要がありますので、条例の体系を整えるため、括弧書きを削除した上で改正案として「次の各号に掲げる工事を除き」の一文を追加し、後段に新たに「号」を立てて除外規定を整理してございます。先ほど括弧書きで削除しました、「管理者が定める軽微な工事」を1号として改めて配置し、2号として本来の改正の趣旨でございます「災害その他非常の場合において、町長が他の市町村長の指定を受けた者に工事を行わせる必要があると認めるときに、他の市町村長の指定を受けた者が行う工事」を適用除外要件として新たに規定するものでございます。

改正条文の附則でございますが、施行日について、公布の日から施行するというものでございます。

続いて、議案第34号、木曾岬町農業集落排水処理施設の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、の説明をさせていただきます。

木曾岬町農業集落排水処理施設の管理に関する条例の一部を改正する条例を次の通り定めるものとするというものでございます。

下段、提案理由です。

国の標準下水道条例の一部改正に伴い、木曾岬町農業集落排水処理施設の管理に関する条例の一部を改正するについては、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決を経る必要があることから、この議案を提出する、というものでございます。

具体的な内容でございますが、新旧対照表にてご説明申し上げます。

改正内容でございますが、先ほど公共下水道条例の一部改正にてご説明申し上げた内容と同様となります。本町では、公共下水道のほか農業集落排水もございますことから、農業集落排水に関する条例につきましても、公共下水道条例と同様の一部改正を実施しよう

とするものでございます。

第1条の中ほどにございます責任技術者の「専属」を「専任」に改め、災害等の緊急事態において他の市町村長が指定する指定工事店への町内の排水設備の復旧工事を請け負わせることができるようにする所要の改正でございます。改正手法は、公共下水道条例と同様に「号」を立てて適用除外要件を整理してございます。

改正条文の附則でございますが、施行日については公布の日から施行するというものでございます。

続きまして、議案第35号、木曾岬町給水条例の一部を改正する条例の制定についてのご説明をさせていただきます。

木曾岬町給水条例の一部を改正する条例を次の通り定めるものとする、というものでございます。

下段、提案理由です。

国の技術的助言に基づき、木曾岬町給水条例の一部を改正するについては、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決を経る必要があることから、この議案を提出するものでございます。

具体的な改正の内容でございます。新旧対照表でご説明申し上げます。

先ほど、公共下水道条例・農業集落排水処理施設の管理に関する条例の一部改正についてご説明申し上げた内容と類似した改正となりますが、標準下水道条例の一部改正に合わせて排水設備のみならず、給水設備の復旧遅延についても同様の措置が必要であると、国から技術的助言として通達がなされたものでございます。

第7条第1項において、ただし書きにて適用除外の要件で記載されておりますが、この度、災害時における適用除外要件を新たに追加する必要があることから、条例の体系を整えるためただし書きを「ただし、次に掲げる各号に該当する場合は、この限りではない」と改め、後段に「号」を立てて適用除外規定を整理してございます。1号には先ほどただし書きの変更において記載を削除しました「管理者の許可を得てあらかじめ町の審査に合格した設計に基づき、申込者側で施行するとき、この場合における設計及び施行について必要な事項は、管理者が別に定める。」の規定を戻し、2号として本来の改正の趣旨である「災害その他の非常の場合において、町長が他の市町村長又は他の市町村長が同項の指定をした者が給水装置工事を施行する必要があると認めるとき。」の適用除外要件を加えるというものでございます。

改正条文の附則でございますが、施行日について、公布の日から施行するというものでございます。

以上でございます。

○総務政策課長（小島裕紹課長） 続きまして議案第36号、木曾岬町夢とふれあい教育基金条例の一部を改正する条例の制定についてでございます。

木曾岬町夢とふれあい教育基金条例の一部を改正する条例を次の通り定めるものとするというものでございます。

下段は、提案理由でございます。

教育振興並びに創造性豊かなふれあい文化のまちの形成に寄与することを目的に設置された同基金へ、新たな寄付を受けたため、これに基づく木曾岬町夢とふれあい教育基金条例の一部を改正するについては、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決を経る必要ある、これがこの議案を提出する理由であるというものでございます。

改正の内容につきましては、新旧対照表にて説明をさせていただきます。

この度、加藤隆様より同基金に対しまして100万円の指定寄付を受けましたので、別表にそのことを加えるとともに、別表中の基準合計金額6,210万円を6,310万円に改めるものでございます。

ページ戻っていただきまして、条例本文附則でございます。この条例は、公布の日から施行するというものでございます。

続きまして、議案第37号、木曾岬町夢ささえあいのまち福祉基金条例の一部を改正する条例の制定についてでございます。

木曾岬町夢ささえあいのまち福祉基金条例の一部を改正する条例を次の通り定めるものとするということでございます。

下段、提案理由でございます。

地域福祉の推進並びに、思いやり溢れる健康長寿のまちの形成に寄与することを目的に設置された同基金へ新たな寄附を受けたため、これに基づき、木曾岬町夢ささえあいのまち福祉基金条例の一部を改正するについては、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決必要がある、これがこの議案を提出理由であるというものでございます。

改正内容につきましては新旧対照表をご覧ください。

この度、加藤隆様より同基金に対しまして100万円の指定寄付を受けましたので、第2条第2項の基金の額8,590万円を8,690万円と改めるとともに、別表の最下段にそのことを加えるものでございます。

条例本文附則でございますが、この条例は公布の日から施行するというものでございます。

以上、木曾岬町夢ささえあいのまち福祉基金条例の一部を改正する条例の制定についての説明でございます。

○議長（服部英二夫議員） 事務局の各議案の詳細説明が終わりました。

ただいま上程しましたそれぞれの議案の質疑は6月13日に行います。

ここで暫時休憩といたします。再開は10時45分といたします。

午前10時28分休憩

午前10時45分再開

日程第 1 3 報告第 1 号 令和 7 年度三重県桑名郡木曾岬町土地開発公社事業計画及び会計予算並びに令和 6 年度木曾岬町土地開発公社事業報告及び会計決算報告について

日程第 1 4 報告第 2 号 令和 6 年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

日程第 1 5 報告第 3 号 令和 6 年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計予算繰越計算書の報告について

日程第 1 6 報告第 4 号 令和 6 年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計予算事故繰越計算書の報告について

○議長（服部英二夫議員） 休憩を解き、本会議に戻します。

続きまして、日程第 1 3、報告第 1 号、令和 7 年度木曾岬町土地開発公社事業計画及び会計予算並びに令和 6 年度木曾岬町土地開発公社事業報告及び会計決算報告について、から日程第 1 6、報告第 4 号、令和 6 年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計予算事故繰越計算書の報告について、の 4 議案を一括上程し、これを議題とします。

上程しました会議、議件名を議会事務局長に朗読させます。

○議会事務局長（伊藤雅人課長） 議長。

○議長（服部英二夫議員） 伊藤議会事務局長。

〔職員朗読〕

○議長（服部英二夫議員） 会議、議件名の朗読が終わりました。

ここで、三輪町長に提案理由の説明を求めます。

○町長（三輪一雅町長） 議長。

○議長（服部英二夫議員） 三輪町長。

○町長（三輪一雅町長） ただいま上程賜りました、報告第 1 号から報告第 4 号までの報告事項 4 件につきまして、その提案理由を申し上げます。

まず、報告第 1 号、令和 7 年度木曾岬町土地開発公社事業計画及び会計予算並びに令和 6 年度木曾岬町土地開発公社事業報告及び会計決算報告についてでございます。

第 1 1 2 回木曾岬町土地開発公社理事会において、令和 7 年度の事業計画及び会計予算が令和 7 年 3 月 2 1 日、書面決議により可決されました。

また、第 1 1 5 回の同理事会において、令和 6 年度の事業報告と会計決算が、令和 7 年 5 月 1 8 日、書面決議により承認されております。

土地開発公社の事務は、公有地の拡大の推進に関する法律の規定により、毎事業年度の事業計画及び予算、資金計画を作成し、土地開発公社の設立団体長に決算に係る財務諸表の提出が定められております。

これを受けて、地方自治法第 2 4 3 条の 3 第 2 項の規定により、関係資料を添えて議会に報告させていただくものであります。

次に、報告第2号、令和6年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告についてでございますが、令和6年度町一般会計補正予算（第4号）、（第6号）及び（第7号）で繰越明許費の承認をいただきました「物価高騰支援事業」から「中学校職員室系統空調機取替事業」までの8つの事業において繰り越した業務の内容が確定しましたので、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、関係資料を添えて議会に報告させていただくものであります。

次に、報告第3号、令和6年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計予算繰越計算書の報告についてでございますが、東部地区クリーンセンターのストックマネジメント事業において、三重県下水道事業団発注の入札に不調が続き、年度内に完成できない状況となったことから、地方公営企業法第26条第3項の規定により、関係資料を添えて議会に報告させていただくものであります。

次に、報告第4号、令和6年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計予算事故繰越計算書の報告についてでございますが、東部地区クリーンセンターの上澄水排出装置及び主ポンプの点検整備において、必要な資材の供給に大幅な遅延が生じ、年度内に完成できない状況となったことから、地方公営企業法第26条第3項の規定により、関係資料を添えて議会に報告させていただくものであります。

以上、上程を賜りました報告事項4件の提案の説明とさせていただきます。

なお、詳細につきましては、それぞれ担当課長から説明いたしますので、十分にご審議を賜りますようよろしくお願いいたします。

○議長（服部英二夫議員） 三輪町長の提案理由の説明が終わりました。

続いて、事務当局に詳細説明を求めます。

○総務政策課長（小島裕紹課長） 議長。

○議長（服部英二夫議員） 小島総務政策課長。

○総務政策課長（小島裕紹課長） 報告第1号、令和7年度木曾岬町土地開発公社事業計画及び会計予算並びに令和6年度木曾岬町土地開発公社事業報告及び会計決算報告についてでございます。

地方自治法第243条の3第2項の規定により、令和7年度木曾岬町土地開発公社の事業計画及び会計予算並びに令和6年度の木曾岬町土地開発公社の事業報告及び会計決算分について、別紙の通り報告するというものでございます。

始めに、第112回木曾岬町土地開発公社理事会での資料でございます。

本理事会は本年3月21日の日付をもって書面表決により開催をされておまして、本日お示しする資料は、その際の理事会の資料ということになります。

令和7年度の事業計画でございますが、特段の事業計画はございません。

続いて、令和7年度の会計予算についてでございます。

第2条において、収入では第2款事業外収益の1,000円を、また、支出では第2款の

販売費及び一般管理費の34万1,000円をそれぞれ予定額と定めるものでございます。

続いて、収益的収入及び支出の明細でございます。

上段、収入には事業外収益の預金利息1円を、また下段の支出では開発公社の事務費といたしまして、委員報酬、消耗品、印刷製本費、通信運搬費、燃料費、委託料、公租公課など34万1,000円を計上しているものでございます。

これ以降のページでは、各種財務諸表を添付させていただいておりますので、ご確認をお願いいたします。

以上、第112回理事会で審議された令和7年度事業計画と会計予算の報告についてでございます。

次に、第115回木曾町土地開発公社理事会の資料になります。

本理事会におきましても、令和7年5月18日付をもって書面表決により理事会が開催をされました。

この理事会では、令和6年度の決算がまとまりましたことから、令和6年度の事業報告、会計決算報告を行うと共に、決算で生じた未処分利益剰余金の処分案について、ご審議をいただいたものでございます。

始めに、議案第3号、令和6年度事業報告についてでございます。

ここに記載の通り、令和6年度における事業実施状況につきましては、特段の事業は行っていないということをご報告をさせていただきました。

また、令和6年度の理事会での議決事項につきましては、4ページの下段と次ページに記載のとおり、それぞれ報告をさせていくと共に、役職員の異動状況についてのご報告をさせていただいたところでございます。

次に、議案第4号、令和6年度会計決算報告についてでございます。

令和6年度の収益的収入及び支出について、収入では2款、事業外収益で預金利息の収入2,290円となっており、支出では2款1項、販売及び一般管理費で理事監事会の経費や書類の印刷代、通信運搬費、公租公課等、合計で11万7,500円の支出となっております。

また、次のページからは、各種財務諸表をお示しするとともに、この会計決算に対する監事の監査意見書を、添付させていただいております。

次に、議案第5号、令和6年度未処分利益剰余金の処分についてでございます。

当年度純損失、11万5,210円を、前年度剰余金残高441万8,240円で補填をし、翌年度の繰越金を430万3,530円とする処分案をお示ししております。

これら議案第3号から第5号までの書面評決書の審議結果につきましては、賛成多数により可決いたしましたことをご報告させていただきます。

以上、報告第1号の説明とさせていただきます。

次に、報告第2号、令和6年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計繰越明許費繰越計算書の

報告についてでございます。

地方自治法施行令第146条第2項の規定に基づき、令和6年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計繰越明許費繰越計算書を別紙の通り報告をするというものでございます。

令和6年度予算を令和7年度に執行するために、令和6年度の町一般会計補正予算（第4号）（第6号）および（第7号）でご承認いただきました繰越明許費の事業内容が確定したことから、ご報告をさせていただいております。

ご覧いただいている計算書では、3款の民生費から9款の教育費までの5つの款と付随する6つの項における事業名、事業の科目に係る総金額、令和6年度の繰越額とその財源内訳を記載しておりまして、記載の8つの事業に係る総額1億3,713万4,000円の事業費に対しまして1億882万1,000円を繰越額とすることを示しているものでございます。

次ページ以降では、繰越計算書の明細書を提出しております。

前ページでお示しをしました繰越額の予算執行における明細を歳入、歳出それぞれに示しているものございますが、こちらに記載されている内容につきましては、補正予算の説明時に説明をさせていただいたものとなっておりますので、ご確認をお願いいたします。

以上、報告第2号の説明とさせていただきます。

○建設課（中里満博課長） 続きまして、報告第3号、令和6年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計予算繰越計算書の報告についてご説明を申し上げます。

地方公営企業法第26条第3項の規定に基づき、令和6年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計予算繰越計算書を別紙のとおり報告する、というものでございます。

繰越計算書についてご説明いたします。

1款資本的支出、1項建設改良費、事業名、東部地区クリーンセンター（地震対策、ストックマネジメント）でございますが、下水道事業団に委託しております東部地区クリーンセンターのストックマネジメント事業・耐震補強工事において、入札不調が相次いだことから、工事設計書の仕様書等の変更を行い、改めて入札を実施する必要が生じました。これらのことから年度内の完了が困難となり、事業費2億425万円を令和7年度に繰り越そうとするものでございます。

報告第3号、令和6年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計予算繰越計算書の報告についての説明は以上となります。

続きまして、報告第4号、令和6年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計予算事故繰越計算書の報告について、ご説明申し上げます。

地方公営企業法第26条第3項の規定に基づき、令和6年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計予算事故繰越計算書を別紙の通り報告するものでございます。

繰越計算書についてご説明いたします。

1款事業費用、1項営業費用、事業名、処理場機器オーバーホールでございますが、新型

コロナウイルス感染症によるロックダウンなどの影響が未だに残っている状況でございます。機器のオーバーホールを実施するための部品の調達に大幅な遅延が生じました。部品の遅延が発生しておりますのは上澄水排出装置及び主ポンプでございます。

このため、年度内の完了を見込むことができなくなったことから、1,408万円を事故繰越するものでございます。

以上、報告第4号、令和6年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計予算事故繰越計算書の報告についてのご説明は以上でございます。

○議長（服部英二夫議員） 事務当局の詳細説明が終わりました。

各議案に関しての質疑は6月13日に行います。

日程第17 同意第2号 木曾岬町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求

めることについて

○議長（服部英二夫議員） 続きまして日程第17、同意第2号、木曾岬町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについてを上程し、これを議題とします。

ここで三輪町長に提案理由の説明を求めます。

○町長（三輪一雅町長） 議長。

○議長（服部英二夫議員） 三輪町長。

○町長（三輪一雅町長） ただいま、上程を賜りました同意第2号、木曾岬町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについての提案理由を申し上げます。

木曾岬町固定資産評価審査委員会委員の白木悦樹氏が、令和7年6月18日をもって任期満了となりますので、引き続き委員に選任しようとするものでございます。

委員としてのこれまでの実績から納税者の代表として公正、中立的な立場から評価の適正を図る同委員として、ご活躍をいただけるものと思っておりますので、ご同意をいただきたくお願い申し上げます。

なお、詳細につきましては担当課長から説明いたします。

○議長（服部英二夫議員） 三輪町長の提案理由の説明が終わりました。

続いて事務当局に詳細説明を求めます。

○総務政策課長（小島裕紹課長） 議長。

○議長（服部英二夫議員） 小島総務政策課長。

○総務政策課長（小島裕紹課長） それでは、同意第2号、木曾岬町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについてでございます。

次の者を木曾岬町固定資産評価審査委員会委員に選任したいから、地方税法第423条第3項の規定により議会の同意を求めるというものでございます。

住所、三重県桑名郡木曾岬町大字見入228番地

氏名、白木悦樹氏

生年月日、昭和26年4月12日生まれでございます。

下段提案理由でございます。

木曾岬町固定資産評価審査委員会委員、白木悦樹氏は、令和7年6月18日付で任期満了につき、引き続き固定資産評価審査委員に選任しようとする。

これがこの議案を提出する理由でございます。

木曾岬町固定資産評価審査委員会委員の白木悦樹氏でございますが、先ほどもご説明させていただきましたように、平成28年6月19日に選任いただきまして、この度6月18日をもって任期満了となります。

町長の提案にもございましたように、納税者の代表といたしまして公正、中立的な立場から評価の適正を図る同委員としてのご活躍をいただけるものと考えておりますので、引き続き委員に選任しようとするものでございます。

ご同意のほどよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

○議長（服部英二夫議員） 事務当局の詳細説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑のある方はご発言ください。

〔暫くして〕

○議長（服部英二夫議員） 質疑がないようですので、質疑を終結したいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（服部英二夫議員） 異議なしと認めます。

よって、質問を終わります。これより討論に入るわけですが、ここでお諮りします。

本議案は、人事に関することから討論を省略し、直ちに採決に入りたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（服部英二夫議員） 異議なしと認めます。

それでは同意第2号、木曾岬町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについてを採決します。

本件は、原案のとおり同意することに賛成の方はご起立を願います。

〔賛成者起立〕

○議長（服部英二夫議員） ありがとうございます。起立全員です。

従って、同意第2号は原案のとおり同意することに決定いたしました。

以上をもちまして本日の議事日程はすべて終了しました。

本日はこれにて散会といたします。

議員の皆様方には慎重なご審議ありがとうございました。

また、三輪町長はじめ執行部の方々には、詳細な説明をいただきありがとうございました。

た。

なお、一般質問日は6月13日午前9時から再開されますので、ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

皆様、大変ご苦勞様でした。

午前11時 6分閉会